

第3回 全国小学校英語活動実践研究大会に参加して

三笠市教育研究所 竹内朋恵

(三笠市立三笠中央中学校教諭)

1.はじめに

とって私事ですが、色々な HP から研究会案内を探すのが趣味です。毎晩…とまではいきませんが、頻りに研究会を探しては「行きたいな～」「出張にならないかな～」と考えています。昨年の10月13日の深夜もネットで探していたらこの研究大会の発表者募集を見つけました。しかし！概要×切が翌日でした。驚きと興奮で取り合えず概要を作成しメールで送ったところ見事？「紙上発表」に当選し、教育長に直談判をして「出張扱い」にしてもらい、参加してきました。

2.2度目の実践研究大会

私にとってこの研究大会へは2回目の参加になります。平成18年の時の感動はまだ覚えています。全国から集まった実践家たちの発表、？ばかりだった論議される内容。そして何よりも驚いたのが京都のカリキュラムセンターの素晴らしさでした。教材の整備いかにして小学校英語活動を支援しているか、是非真似をしたい！との思いで今も研究所でほそぼそと教材の整備等の支援活動をしています。そして…今回は発表。

全国の方々にこんな北の田舎でやっている英語活動が果たしてどうなのか～多くの意見を聴きたいと思い参加しました。

研究大会のようす

1月26日(金)

公開授業 第1会場(京都市立第4錦林小学校)

第2会場(京都市立広沢小学校)

第3会場(京都市立洛央小学校)

学年・組	単元	指導者
3年1組	カレンダーを作ろう	HRT + JET
4年2組	カレンダーを作ろう	HRT
5年3組	Welcome to 洛央	HRT + ALT
(課外)1年	レインボーマジック	ボランティア
事後研究	「人とのつながりを大切にした英語活動」 直山木綿子指導主事(京都市教育委員会)	

平成18年度から英語活動がスタート。今までの研究課題「理科教育」に加えて英語活動が始まり、研修会が多くなり教員にとってはかなりの負担。

(3年生以上年間20時間)

校長のかなり強いリーダーシップがあり、英語主任を配置した。(校内の若そうな先生を指名)

一人でもTTでもできる英語活動を目指していることであった。年間数時間しかALTは来ない。とにかく挑戦すること、やってわかったこと、わかった課題・それから考えていきたい。

5年生の授業を中心に参観したが、担任がたどたどしい英語を使いながらの授業は初々しい感じだった。人と関わりを持たせたい、多くの人と英語を話させたいという目的があり、参観者に積極的に英語を話すという授業を行っていた。文字指導はしていないそうだが、児童は参観者と会話をする際に渡すカードに一生懸命自分の名前を書こうとしていた。文字の書きかたはALTから教えてもらっていた。児童も教師も一生懸命という姿が見られた。

1月27日(土)

全体会 講演「小学校英語の課題と展望」

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 菅 正隆

大臣発言で国民は驚いているだろうが、大臣は小学校英語は中学校英語の前倒しと理解していた。国際理解感覚を身に付けるものだと色々と説明している

スキルは中学校高等学校で良い、環境がないとスキルは身に付かない。その環境を小学校で作って欲しい。小学校は人と関わるコミュニケーションの基礎を作り、相手を理解し自分を伝える。それができて中高でのスキルが伸びる。全国の小学校英語を見ると、小学校を積み木の1つと考えている学校が多い。

日経新聞は小学校英語に賛成。なぜなら市場が広がるから。

小中高互いにいがみ合ってはいけない。それをどう埋めるかが課題。

小学校英語が必修科になるからと言って驚くこともない。今やっていることを国が政策として整理するだけ。それよりも中高の先生がどう変わるかが課題である。

分科会 第1分科会「カリキュラム」小学校英語活動で求められているカリキュラム

第2分科会「小中連携」 小中連携の進め方

第3分科会「指導形態」 担任とALTあるいは英語専科とのT・T
担任独自で進める英語活動のあり方

実践報告1	ALTと一緒にEnjoy reading! 英語活動を通して出会った人たち	京都市西京極中学校
実践報告2	「英語活動から英語科へのスムーズな移行を目指して」 ~小学校教員と中学校教員の連携~	大阪府吹田市立千里たけみ小 大阪府吹田市立竹見台中
実践報告3	「コミュニケーション感覚を高め、中学校へ繋げる小学校 英語活動」	佐賀県佐賀市立勤興小
紙上発表 指導助言	「三笠市の国際科・小学校英語活動と中学校との接続」 「小中連携を図る」菅 正隆氏	北海道三笠市立三笠中央中

* 中学校の先生が小学校英語に興味を持って、スキルアップ講座に参加したことをきっかけに中学校での授業でも工夫しようと思った。

* 兼務発令を受けて小中の教員が交換授業を行なっている(大阪)

* ローマ字は中教審でも論議中。ローマ字を徹底的に指導すべきではないかと論議している

菅先生の助言から

* 小学校英語は説得より納得

- * 小中のカリキュラムの一貫性が大切
- * 兼務発令は業務の多忙が当然になるが良いシステム
- * 一貫は管理職が強いリーダーシップを発揮しないと失敗する
- * 小5小6のプレイルームでの指導はいかなものか、中学校での学習体制を考えると高学年は学習体制の工夫が必要
- * 語彙数は高学年で1年間100語程度だろう
- * 特別支援教育での英語活動は障害児の発話をうながすきっかけとなる
- * 2月27日に大阪寝屋川明和小学校で大津由紀雄先生の公開授業がある
- * 小学校英語活動には近ごろ流派があるようだ
- * 次年度からの教員研修には拠点校に特区、研究開発校を入れるかが課題
- * 小学校英語活動が必修化になった場合、特区はどうするのか、国としてのカリキュラムとの融合性を検討すべき
- * 一人で教えるのと違って3人で教えるなら3倍の効果が期待される。
- * 今後 ALT は雇用が増大するが質が落ちるだろう

3. 次回は…

第4回全国小学校英語活動実践研究大会は平成20年1月25日(金)~1月26日(土)

に福岡県大牟田市で開催されるそうです。かなり遠いですが…

今回からは

英語活動を始めて3年以内

英語活動を始めて3年以上

特区・研究開発学校

と分類して発表が行なわれるそうで、すでに募集が始まっています。

無理矢理「出張」という形で色々な所に行かせてもらっていますが、今までの研究会の中でも一番価値のある研究会だと思います。ぜひ、皆さんも参加されてはどうでしょうか？

ANA カードか JAL カードにして日頃のポイントを全部マイルに移行すると…

あと7ヶ月。なんとかなるかも！

参考資料

第3回全国小学校英語活動実践研究大会の要項から

日本児童英語教育学会 第28回全国大会資料から

第4回全国小学校英語活動実践研究大会案内